

# 公募等実施事項報告書（資金分配団体）

**事業名:** 支援が届かない在留外国人等への人道的支援  
**資金分配団体:** 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
**実行団体数:** 8団体  
**実施時期:** 2020年3月～2021年2月  
**事業対象地域:** 全国  
**事業対象者:** コロナ禍で困窮する在留外国人

Version 1.0

日付: 2021年7月26日

## I. 公募～選定の結果

単位: 件

選定予定件数-計画	申請事業数-実数	申請団体数-実数	選定事業数-実数	選定団体数-実数
10	16	16	8	8

## II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間 ※告知開始～募集受付開始 (単位: 日)	募集の受付期間 (単位: 日)	募集の告知媒体の種類							
0	21	<input checked="" type="checkbox"/>	HP	<input checked="" type="checkbox"/>	SNS	<input type="checkbox"/>	チラシ	<input checked="" type="checkbox"/>	関連組織を通じた広報
		<input type="checkbox"/>	プレスリリース	<input type="checkbox"/>	その他	具体的な方法 ( )			
<b>実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと</b> 1. 当該事業に関連する事業を行う団体の事前調査とネットワークのハブとなる組織などの見定めを行い、集中的に広報を行ったこと。 2. コンソーシアム構成団体や当団体のSNS利用における情報の拡散依頼による、短期間で自発的な広報範囲の拡大が行われたこと。									
<b>実行団体の募集の課題</b> 緊急支援プログラムとして実施したため、告知から受付までの期間が十分とは言えなかったため、 1. 申請準備が間に合わず申請を断念した団体がある。 2. 事前の申請書類準備期間が短くなってしまったため、申請が可能となった団体にとっても作業負担が多かった。									
公募に申請した団体の情報を、募集終了時に Web サイト上で公表しましたか。対応状況の詳細と合わせて記載ください。									
はい	<a href="https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/programs/covid19-2020_foreign.html#adoption">https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/programs/covid19-2020_foreign.html#adoption</a>								

## III. 公募プロセス/申請団体の審査

単位: 人

審査委員の人数 (合計)	内訳:外部委員	内訳:内部委員
5	4	1

<b>審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。</b> 事務局での事前の論点整理を行い、それぞれの申請事業について、重点的に専門的な意見聴取を行う点を定めた。 同時に、申請団体の組織体制、事業内容、地理的特性など多角的な視点での審査を行っていただいた。
<b>審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。</b> 審査委員については、委嘱時における関係する団体の有無を確認しており、審査においても別途申請団体との関りの有無を確認した。
<b>申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。</b> 主としては、申請書類により書面判断とした。 同時に、審査において、審査委員より財務状況や活動状況の資料から質問を受け、事務局は事前の聞き取りや審査時に付された確認条件として、団体への確認を行った。
<b>申請団体との面談(必要に応じて現地調査)はどのように実施しましたか。</b> コロナ禍の為、面談はオンラインにて行った。 事前に面談の調整を行った結果、1団体を除いた申請団体と面談を1回以上実施した。

<b>申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと</b>	
限られた期間内であったが、可能な限り複数回面談し、その中で事業内容や資金計画を整理、精査したことにより、審査においては、申請団体、審査員ともに申請事業に対して齟齬が少ない状況で審査が行えたと思う。	
<b>申請団体の審査で感じた課題</b>	
申請数が予想よりも多くなるにつれ、それぞれの団体に対する事前調査や、申請事業の背景を事前により丹念に調べる必要があることが分かり、適切な公募期間の設定や、緊急性による早期の審査などのタイムスケジュールの設定が難しいと感じた。	

#### IV. 公募の設計/申請団体数・実行団体の事業内容

<b>(申請団体数)</b>	
実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定より多かった	プログラムの立案時点から、応募件数が高くなることは想定していたが、広報の拡散により、予想を超える数の申請があった。申請団体のヒアリングから、各団体取り組まれている課題の深刻さと同時に、資金支援がかなり限られている領域であることが分かり、活動する団体からは当方が予想するよりも高い必要性があることがわかった。
<b>(申請団体の事業内容)</b>	
設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容（目標、対象者、地域、活動、金額、規模等）は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通りだった	大筋想定通りの実行団体の選定となった。要因としては、緊急性に絞ったプログラムだったため選定した実行団体からの事業計画はいずれもその部分に特化した取り組みであった。一方、今回のプログラムはコンソーシアム形式による実施だったため、緊急性については、これまで当方単独で実施してきた価値観に加え、コンソーシアム構成団体の価値観が加わり、新たな視点での審査結果となった一面がある。

#### V. 選定結果の通知及び公開の状況

<b>(選定結果の通知)</b>	
実行団体に選定しなかった申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。	
はい	
<b>(選定結果の公開)</b>	
選定結果について、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/programs/covid19-2020_foreigner.html#adoption">https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/programs/covid19-2020_foreigner.html#adoption</a>
<b>(規定類の公開)</b>	
ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類を、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://www.japanplatform.org/about/article.html">https://www.japanplatform.org/about/article.html</a>
<b>(人件費水準の公開)</b>	
経費に人件費が含まれる場合、当該人件費の水準をwebサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	<a href="https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/info/">https://www.japanplatform.org/contents/kyuminvokin/info/</a>

VI. 公募の過程に伴う事業再検討結果（事前評価）

課題の分析（ニーズの分析）

<p><b>課題の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分</b></p> <p>事前評価を別途実施してはいるが、JPFにて把握した関連団体から在留外国人の困窮状況についての情報と、JCIEで在留外国人関連の事業を複数実施している中で専門家、NPO/NGO、外国人コミュニティ関係者等から得られた情報に基づき、コロナ禍にて一層顕在化した在留外国人の労働、教育、社会保障等における脆弱性が社会からの「孤立」に結びつかないような「回避」の仕組みを作ることが重要課題であると考えた。応募団体を対象とした面談から、言葉の壁による情報取得の困難、失業・収入減に伴う生活基盤の崩壊、セーフティネットへのアクセスの困難を回避するための継続的支援と合わせて、在留資格などの法的身分の不安定化による「その場しのぎ」の支援を緊急に行うことも重要であることが確認できた。</p>
<p><b>事業対象の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分</b></p> <p>未実施（実態としては変更部分は無し）</p>

事業設計の分析（セオリーの分析）

<p><b>事業設定の妥当性：助成申請時に想定していた事業設定に対し、変更が発生した部分</b></p> <p>未実施（実態としては変更部分は無し）</p>
--

見直し後の事業目標 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態
<p>①支援が届いていない困窮者の発見（社会との接点作り）</p> <p>②対象受益者への迅速な人道支援の実施</p> <p>③対象受益者への支援上の課題整理（提案等）</p>	<p>①新に支援につながった受益者数、</p> <p>②対象受益者への支援件数</p> <p>③各実行団体における課題整理（例：公的支援へのアクセス、地域のステークホルダーの関与・介入のあり方、法的支援の仕組みなど）</p> <p>資金分配団体側での課題整理、提案（例：地域・法的身分などによる課題の違い、法制度を活用した支援の枠組みの提案など）</p>	<p>①、②：ケース記録等</p> <p>③全体会や個別の月例ヒアリング等による課題把握や整理、ステークホルダーとの意見交換・ヒアリング調査</p>	<p>①各実行団体申請の目標値達成</p> <p>②今後の支援に結び付く課題の整理や対応方針の策定</p>

見直し後の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び その目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

今回の事業実行を通じた目標	目標値/目標状態
<p>特に変更なし</p>	

VII. 広報実績（公募関連以外）

広報内容	有無	内容
<p>メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）</p>	<p>無</p>	
<p>広報制作物等</p>	<p>無</p>	
<p>報告書等</p>	<p>無</p>	

VIII. ガバナンス・コンプライアンスの確認

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	いいえ	
6. 実行団体に規程類の整備について説明をしましたか。	はい	